

平成28年度 学校評価 報告

学校教育目標	豊かに自立した人間性の育成 (自他共に幸せな人生のための人間性の育成)	重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人柄の基礎 『4つのキーワード(挨拶・感謝・感動・思いやり)』を定着させる。 ・「自分」の視点だけでなく、「他者」の視点も考えた自立意識を育む。 ・「自分ゴール」に向かう「やる気」を育てる。 ・遅刻をしない、提出期限を守るなど「信用」される人を育てる。 	備考	・次年度は、学校の特色の4つの柱を評価項目に明記してはどうか。
---------------	--	-------------	--	-----------	---------------------------------

評価の観点	評価項目・実践目標	アンケート項目		アンケート平均(4点満点)			本年度の成果・今後の取り組み
		生徒	保護者	生徒	保護者	教員自己評価	
a. 基本理念 (教師像)	1 建学の精神, 校訓を意識した指導を実践している。 2 情熱がある。 3 生徒に信頼される関係を築く努力をしている。 4 一貫した指導を心がけている。 5 あいさつは自分から明るくしている。 6 言葉に責任を持つようにしている。 7 職員の中で信頼される関係を築く努力をしている。 8 向上心を持っている。 9 変化に柔軟に対応している。 10 協調性がある。 11 健康管理ができています。	1 先生が情熱的である。 2 先生が信頼できる。 3 先生があいさつをしている。	1 教員は、保護者に信頼されるよう努力している。 2 教員は、明るく挨拶している。 3 教員には責任感が感じられる。	2.8	3.3	3.2	本年度の成果 昨年度に引き続き、保護者との関係は良好に保たれているのではないかと考えられる。概ね、保護者の方には信頼されながら、日々の教育活動を行えているように思える。また生徒との関係も良好であり、生徒たちの学校生活がスムーズにいくよう工夫を重ねている。ただし、一部、不十分な部分が見受けられるように考えられる。 今後の取り組み 学校とご家庭との信頼関係をより一層築くため、日々の細かなことから様々な問題に気付いて行くことができるよう、教員も不断の努力を続けたい。また、保護者の方に、安心感を与えられるよう、校内の教育活動や生徒の様子を、ご家庭に定期的に情報提供したい。
b. 生徒指導	1 毅然とした態度で接している。 2 生徒一人一人に声をかけ、目配りをしている。 3 よいところを見つける努力を怠らない。 4 感情的に怒るのではなく、相手のために叱り諭している。 5 指導には継続性、忍耐をもってあたっている。 6 すべての生徒に公平に指導している。 7 指導のタイミングとスピードを意識している。 8 生徒に身だしなみを意識させている。 9 保護者との連携に努めている。 10 教員間での情報を共有している。	1 風紀指導が適切に行われている。 2 学校が落ち着いた雰囲気である。 3 基本的なマナー指導が行われている。	1 生徒一人一人に目配りがされている。 2 学校は、保護者との連絡を適切に行っている。 3 子どもが身だしなみや言葉遣いに気をつけるようになった。	2.9	3.1	3.1	本年度の成果 教職員の個々の生徒に対する対応は、充分に行なわれているが、適切なタイミングや言葉掛けの適切な指導が出来ているかは不安である。全校生徒は、比較的落ち着いているように見えるが、校内でのマナー指導の徹底が希薄化している。施設・設備の使用法に問題がある。(スカイルーム・トイレなど) 今後の取り組み 生徒部からの各学年への呼びかけや情報提供が不足しているのではないかと反省している。情報共有の徹底を強化したい。

c. 学習指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 教材研究を怠らない。 2 時事的な話題への関心を日頃から抱いている。 3 学習指導要領とシラバスを意識した授業を行っている。 4 生徒の発達段階や能力に応じた指導を行っている。 5 生徒の好奇心を高めることを意識した指導をおこなっている。 6 成績の分析と、そのフィードバックをこころがけている。 7 教科内の連携、情報交換を意識している。 8 教科間の連携、情報交換を意識している。 9 自己研鑽に努めている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業がよくわかり、ていねいである。 2 授業に興味深い話題や作業などが盛り込まれている。 3 学力がついてきたという実感がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもが、授業が良くわかると話をする。 2 子どもが、家庭学習をするようになった。 3 子どもが、さまざまな学習に積極的になった。 	2.7	2.7	3.0	<p>本年度の成果</p> <p>前年度に比して、生徒・保護者の数値がともに改善したものの、クラスや学年のあいだの開きは依然として小さくない。概して高学年ほど評価が高い状況にも変わりがない。</p> <hr/> <p>今後の取り組み</p> <p>新しい教育課程の施行を目前に控え、アクティブ・ラーニングやICTを活用した授業の拡大、道徳の教科化など、時代の負託に応える教育に今後も力を尽くしていきたい。</p>
d. 進路指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 6年間を通したプログラムを意識している。 2 大学の情報の収集と提供を意識している。 3 職業についての研究と情報の提供を意識している。 4 進路実績の分析とフィードバックに努めている。 5 面談の情報を共有している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 先生は、大学など将来に向けての情報を与えている。 2 先生は、職業についての話をしている。 3 先生に成績・模試データについて相談できる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員は、大学の新しい情報を提供している。 2 教員は、個人の成長に応じた進路を一緒に考えている。 3 教員は、過去の実績からアドバイスしている。 	2.6	2.9	2.8	<p>本年度の成果</p> <p>生徒から大学入試に向けた情報の提供に対して評価は得ているが、保護者からは十分評価を得ていない。保護者からは、過去の実績からのアドバイスで評価を得ている。</p> <hr/> <p>今後の取り組み</p> <p>生徒が気軽に成績、模試の相談ができるような成績の提供のし方を考え、適切なアドバイスができるように取り組む。保護者に対しては、定期的に情報提供をするなど、情報提供のあり方の改善に取り組む。</p>
e. クラブ指導	<ol style="list-style-type: none"> 1 6年間を通した育成プログラムを構築している。 2 向上心を持たせる指導を心がけている。 3 生徒の自主的な活動を促している。 4 学年間の上下関係を意識させている。 5 成功体験、達成感を意識した指導を心がけている。 6 実力に応じた目標を与え、その達成のために何をすべきかを指し示している。 7 実力を試す機会（大会やコンクール）に積極的に参加させている。 8 指導者としての技術力・指導力向上を目指し、研究している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 先生は、やる気を持てる指導をしている。 2 先生は、実力に応じた指導をしている。 3 先生は、実力を試す機会（大会やコンクール）に積極的に参加させている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教員は、やる気をもって取り組める指導をしている。 2 教員は、実力を試す機会を与えている。 3 教員は、クラブの予定や様子を連絡している。 	2.6	3.0	3.0	<p>本年度の成果</p> <p>生徒が「勝ちたい、賞を獲りたい、上に行きたい」という気持ちの不足を非常に感じる。顧問の忙しさもあると思うが、目標を高く持たせた指導に向けた努力を行ってほしいと強く感じる。</p> <hr/> <p>今後の取り組み</p> <p>クリニックや講演会を通して、生徒の目標設定の向上及び顧問指導の向上に努めていかなければと感じている。</p>
f. ホームルーム	<ol style="list-style-type: none"> 1 教室の美化を意識した指導をしている。 2 けじめをつける指導をおこなっている。 3 生活や行事の中で、メリハリをもたせるような指導をしている。 4 クラス内の活動において生徒全員で負担が分担できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1 勉強しやすい整理整頓のできた教室である。 2 クラス内にけじめ、秩序がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもは楽しそうに通学している。 2 教室の学習環境が整っている。 	2.5	3.1	3.1	<p>本年度の成果</p> <p>学習の場としての条件整備に、不十分な部分がある。保護者には理解されているが、生徒には理解されていない部分もあるものと考えられる。KEEP手帳についても、生徒が十分に活用できていないところがあるように思える。</p>

	<p>ようにしている。</p> <p>5 秩序あるクラス作りをしている。</p> <p>6 協調性をもって行動できるように指導している。</p> <p>7 生徒の生活習慣をKEEP手帳・面談等を通して把握している。</p>	<p>3 KEEP手帳が毎日記入でき、スケジュール管理に活かしている。</p>	<p>3 子どもがKEEP手帳を用い、自己管理ができるようになった。</p>			<p>今後の取り組み</p> <p>学習の場として、校内が、けじめ・秩序が保たれ、公平にすべての生徒が、教育活動できるように、教員が、連携を図りながら、努力を継続していく。また、生徒たちが、KEEP手帳を効果的に使えるよう、担任が適切なアドバイスができるよう心掛ける。</p>
--	---	---	--	--	--	---